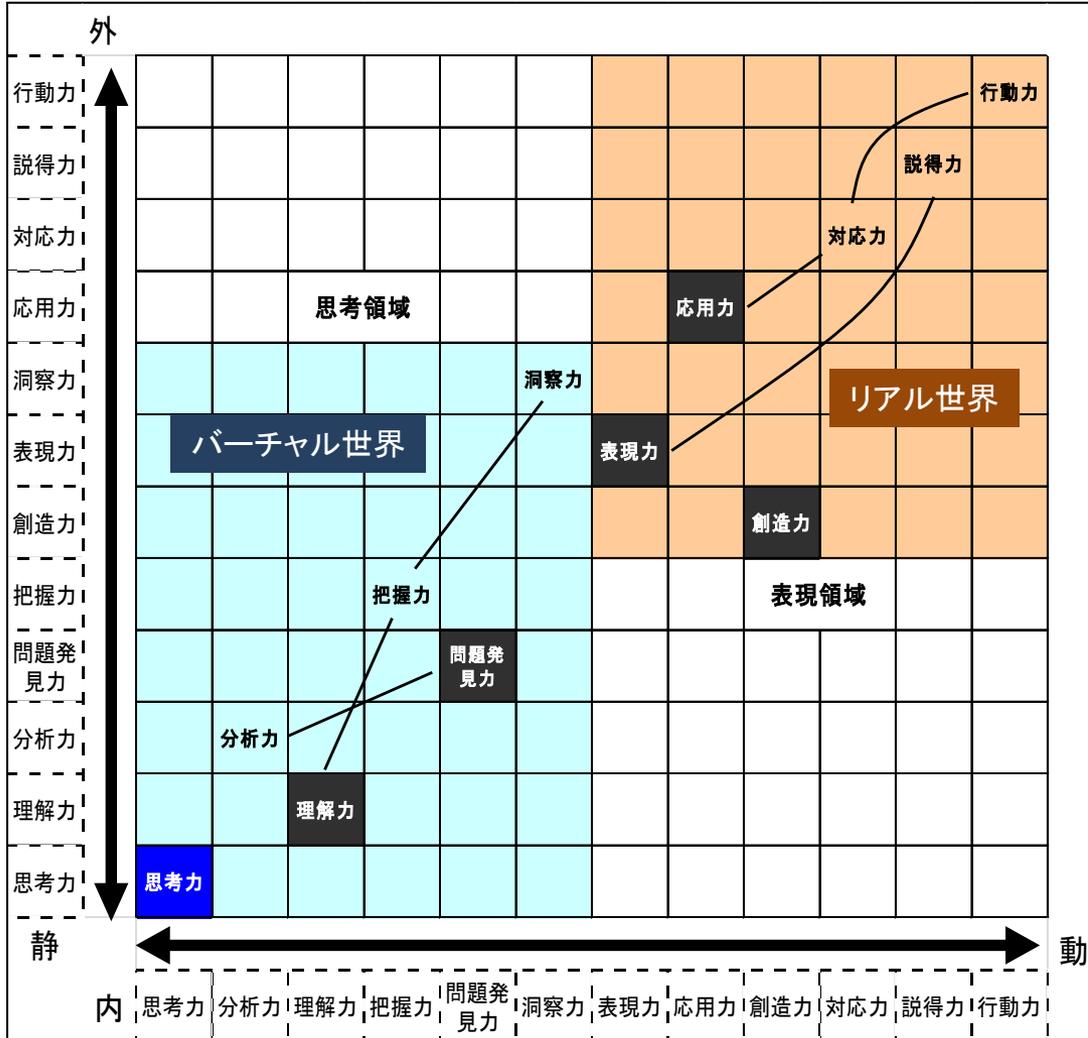


人材の基本能力

長い間、意識され続けてきた能力が11種類ある。これらを基本能力とした。

11の能力をすべてまとめて思考力と言う。



- 表現力**・・・気持ち、感情、見たものの状態、情景等の心的内容、外的状況を伝えることのできる力を示す。
- 説得力**・・・表現力の上に、相手の分析ができ、自分の意志を正確に伝える状態を示している。
- 理解力**・・・見る、聞く等をそのまま素直に対象を認め受け入れ、判断する基準をもっており、その基準に従って意味を知り対象の道理が分かる力を示す。
- 把握力**・・・理解力よりも強い意味を持つ。見る、聞く等を認め受け入れ、判断する基準をもっており、その基準に従って、自分の考えとして取り入れることのできる力を示す。
- 分析力**・・・対象の要点を、自分の持っている基準に従って分類し、その要点の構成を、明らかにすることのできる力を示す。
- 問題発見力**・・・対象を把握し、自分の目的が明確であって、目的を達成するための要件を整理し過不足を見いだせる力を示す。
- 洞察力**・・・分析力よりも強い意味を持つ。対象の要点を、自分の持っている基準に従って分類し、その要点の構成を、明らかにする。さらに、長所・短所、または正負等の対比ができる力を示す。
- 創造力**・・・論理的に物事を考えていく力に加え、異質のものとの組合せ、または自己の意識との組合せから、新たな論点を持つことのできる力を示す。正確な表現ができ、相手の状況を認識し、自分の目的に従って論旨を展開させることのできる力を示す。
- 応用力**・・・語彙力を必要としている。多くの状況(言葉の意味や、その範囲、言葉の組合せからでてくる新たな論旨等)をつかみ、これを展開させていくことのできる力を示す。
- 対応力**・・・相手を受け入れることと主張する事のバランスを示し、対象の状況を自分の基準で判断し、自分の目的に対して論旨を展開することのできる力を示す。
- 行動力**・・・自己の主張性が明確であり、これに対しての展開方法を持ち、これらを組み合わせて展開させていこうとする力を示す。表現された内容からみる場合は、実際の行動ではなく、行動のための考え方や、方法論を持っているかを見る。